



医師



利用者様



ご家族



介護職員

老健あつべつは、利用者様が日常生活上に抱えている課題（ニーズ）を一緒に解決するために、医師・看護職員・介護職員・リハビリ職員・支援相談員・介護支援専門員・管理栄養士・事務職員等の様々な職種が働いております。

利用者様個々により、“ニーズ”がそれぞれ違います。そのため、各職種が利用者様ごとにチームを組み、専門的な知識や技術を生かし、それぞれの課題解決のための支援にあたっています（チームアプローチ・チームケア）。

また、利用者様やご家族もチームの一員として、自らの課題解決やご家族の協力も頂きながら支援を行っていきたいと考えています。



看護職員



リハビリ職員



事務職員
用務員



支援相談員
介護支援専門員



管理栄養士

医師

利用者様の医学的管理を行います。老健入所中は主治医となり、利用者様の状態を把握し、診察・治療・薬の処方・看取りケア等を行い、看護職員やリハビリ職員等への指示を行います。



看護職員

利用者様の血圧・体温測定、日々の体調確認を行っています。体調変化時は、医師に報告・指示を仰ぎ必要な処置を施しています。また、受診・入院時の付添、病院等への情報伝達も行っています。



老人看護専門看護師

認知症や慢性疾患等の健康問題を抱えた高齢者の生活の質の向上のため、高齢者本人と家族をサポートします。また、ケアに関わる多職種と連携し相談に応じること、さらには高齢者看護を通しての教育・研究を進めるのが仕事です。



管理栄養士

利用者様の栄養状態の維持・向上のために、食事が楽しみとを感じるためのメニュー作成や行事食の企画、個々の状態に合わせた食形態の設定などを、他職種と協働して行います。



リハビリ職員

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が医師の指示を受け、運動機能・精神心理機能・言語機能・嚥下機能を維持・向上させるためのリハビリテーションを実施します。歯科衛生士が行う口腔ケアにより、口腔衛生も充実します。



音楽療法士

音楽を“リハビリテーション”の一環ととらえ、利用者様や地域の高齢者等に対して、音楽の力を活用し、認知症・介護予防、認知機能・運動機能の維持・向上などの手助けを行っています。



介護職員

利用者様の生活全般（移動・食事・入浴・更衣・排泄等）のお手伝いやお話し相手（傾聴）、日々の様子観察等を行い、施設では利用者様に“いちばん近い存在”として働いております。



認知症ケア専門士

認知症ケアに対する優れた学識と高度の技能および倫理観を備え、わが国における認知症ケア技術の向上ならびに保健・福祉に貢献することを目的とした専門技術士です。



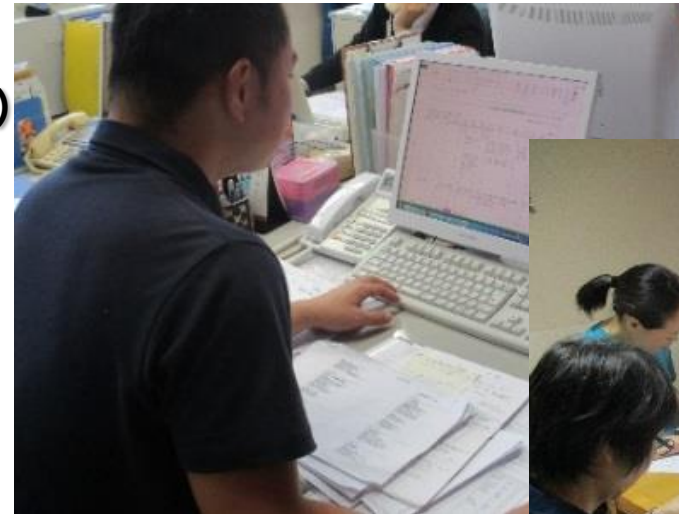
支援相談員

利用相談等の窓口となり、利用者様と施設やサービス（社会資源）とを繋ぐ役割を担っています。利用者様やご家族からの日常的な相談もお受けし、解決に向けて多職種協働でサポートします。



介護支援専門員 （施設ケアマネジャー）

利用者様やご家族からご意向を伺い、利用者様が抱える生活課題について、多職種と協働し課題解決に向けた施設サービス計画（ケアプラン）を作成しています。



事務職員・用務員

施設の窓口対応や人材確保、職員の労務管理、物品・設備管理、利用者様の利用料・保険請求に関することなど、施設全般の運営・管理を担い、縁の下の力持ちという存在です。



施設に関わる地域や外部の方々

- ・ ボランティア～地域の方が定期・不定期で活動
（活動内容例）シーツ交換、行事補助、演芸披露、麻雀・お話し相手、車いす整備
- ・ 食事、施設管理業者～厨房、掃除、洗濯、守衛
- ・ 歯科医師
- ・ 理容師